

研究通信

No. 73

1970.10月刊
村落社会研究会
事務局
東京学芸大学
社会学研究室内

II、総会および懇親会
(四時) 休憩 (五時一六時三〇分)

(六時三〇分) 懇親会
第二日 一〇月二九日(木)

■、共通課題「村落社会研究の方法」をめぐる報告と討論
司会 小池基之 福武直 中野卓

すでにお知らせしてきましたように、来る十月二八日、二九日の兩日、今年度の大会を開催いたします。プログラムは次の通りです。
前号通信に同封した参加申込書をまだお送りになつていなの方は、準備の都合がありますので至急お送り下さい。

—第一回大会プログラム—

第一日 一〇月二八日(水)

1. 自由報告と討論

(九時三〇分)

1.

堀口貞幸「近世村落の相地分地について」

(一〇時二〇分) 2. 岩本由輝「今井郷系図にみる近世農民の家」

(一一時一〇分) 3. 内藤莞爾・土居平「五島カトリックの家族分

封

休憩 (一二時一一時)

(一時) 4. 林雅孝「開拓部落における農業の発展過程」

(一時五〇分) 5. 民秋言「大都市近郊における農地転用の実態

分析

(一時四〇分) 総括討論

会場は、天童市天童温泉の旅館新庄館(電話〇二三六五ー三一三〇五五)です。すでに申込まれた方で予定変更などの際は事務局または遠見自宅まで御連絡下さい。

今回は第一日・第二日とも報告時間は質疑を含めて五〇分と予定しております。報告要旨と共に共通課題についての司会者団の提案は別冊にいたしましたので、これまでの四回の研究会の報告ののった研究通信とともに、大会会場に御持参下さい。参加申込は、九月末現在で大体例年並みと見込んでおりますが、なお申込がつづいており充実した会になることを期待しております。